

横須賀ベイサイドさんぽ



③記念艦「三笠」

- ・1905年(明治38年)、日本海海戦において、連合艦隊の旗艦として、ロシアバルチック艦隊と戦い、勝利した。
- ・1926年(大正15年)、記念艦として、ここに設置。
- ・世界3大記念艦の1つ。英国ヴィクトリー 米国コンスティテューション

④ドブ板通り

- ・昔、通りの中央に流れていたドブ川に鉄板の蓋をしたのが名前の由来。
- ・今もアメリカ文化溢れる街並みにディープな横須賀が感じられる。
- ・横須賀発祥のスカジャン専門店、ミリタリーショップ、海軍カレーやネイビーバーガーの店等が立並ぶ。
- ・路面に横須賀に縁のある有名人の手形が埋込まれている。

②若松マーケット

- ・スナックなど70軒の飲み屋が立並ぶ。

横須賀グルメ

⑦よこすか海軍カレー

- ・日本海軍の軍隊食のレシピが紹介されていた明治41年発行の「軍割烹術参考書」から復刻。
- ・栄養のバランスからサラダと牛乳がセット。
- ・現在、45以上の認定店で夫々にアレンジを効かせた美味しさが味わえる。

⑧米海軍伝統の公式レシピ! 「ネイビーバーガー」

- ・2008年、米海軍横須賀基地が横須賀市に伝統的アメリカンハンバーガーのレシピを提供。
- ・横須賀市内の14店舗で賞味できる。

⑨ヨコスカチェリーチーズケーキ

- ・米海軍横須賀基地からレシピが提供された本場ニューヨークスタイルのチーズケーキ。
- ・日米友好の象徴として桜=チェリーがトッピングされている。

①龍本寺

- ・日蓮宗の寺。
- ・1253年(建長5年)、日蓮上人が房州から鎌倉へ船で渡る途中、急に海が荒れたため、ここ米ヶ浜(よねがはま)に上陸した。
- ・現在、日蓮上人所縁の鮑と栄螺が寺宝として祀られている。
- ・本堂は、江戸時代を代表する豪壮な建物で、明治の初めに茅葺を瓦葺に変更した。
- ・本堂前面の彫刻の装飾が見事。

⑤ヴェルニー公園

- ・2001年(平成13年)、フランス庭園様式を取り入れてリニューアルした。
- ・対岸には横須賀造船所跡地を望み、その建設に貢献したフランス人技師ヴェルニーと、小栗上野介忠順の胸像が立つ。
- ・約1400株のフランス品種中心のバラが植栽され、毎年5月と10月ローズフェスタが開催される。

⑥ヴェルニー記念館

- ・2002年(平成14年)に完成。フランス・プルトーニュ地方の住宅スタイル。
- ・旧横須賀造船所で、幕末から2000年(平成12年)まで活躍したスチームハンマー2基(3tと0.5t)が展示。
- ・餐舎(こうしゃ)と呼ばれた職工学校等、旧横須賀造船所に関する資料が展示。

横須賀の歴史と現状

- ・横須賀は、東京湾の入口に位置しているため、江戸時代から国防の拠点とされた。
- ・1865年(慶応元年)、徳川幕府が横須賀造船所の建設を開始。
- ・1884年(明治17年)、大日本帝国海軍横須賀鎮守府が置かれ、軍港都市として栄えた。
- ・現在は、アメリカ第7艦隊横須賀基地、海上自衛隊横須賀地方総監部、陸上自衛隊の基地と、自衛隊関係の教育施設(防衛大学校、陸上自衛隊高等工科大学)、および横須賀海上保安部が置かれている。
- ・近年、東京や横浜など首都圏のベッドタウンとして発展してきたが、最近では人口が減少に転じ、神奈川県内では藤沢市に抜かれ、人口数第5位の市となった。
- ・山が迫っていて平地が狭いという地理的要因から、今後大きな人口増加は望めないため、「国際海の手文化都市」をスローガンに「交流人口」(仕事やレジャーでの流入人口)の増加、「また来てもらえる街」をめざしている。
- ・海岸沿いまで山が迫る地形のため、トンネルが多いのが特徴。

旧・横須賀造船所

- ・1865年(慶応元年)、艦船の修理と建造のため、幕府の勘定奉行小栗上野介忠順の進言により、フランス人技師ヴェルニーを招いて、横須賀製鉄所の建設が始まった。
- ・徳川幕府の瓦解後、明治新政府が建設を引継いだ。
- ・1871年(明治4年)、1号ドックの完成とともに、「横須賀造船所」に名称変更。
- ・1872年(明治5年)から海軍省の管轄に。
- ・1903年(明治36年)～1945年(昭和20年)の間、横須賀海軍工廠として多くの軍艦を製造。
- ・第二次世界大戦後は、アメリカ第7艦隊横須賀基地となっている。幕末に造られたドックが残っており、現在造船は行っていないものの、艦船の修理に使用されている。

